

国内航空貨物『無申告危険物搭載防止キャンペーン』を実施します

強化月間 2021年11月1日～11月30日

一般社団法人航空貨物運送協会(JAFA)国内部会では、危険物の適正な取り扱いによる航空輸送の安全を確保するため、一年を通じて、講習会などの啓蒙活動に鋭意取り組んでいます。

また、毎年3月と11月を強化月間と定め、日本航空／ANA Cargoと共同で『無申告危険物搭載防止キャンペーン』を実施してまいりました。

「無申告危険物」とは、法令により危険物としての取り扱いが定められている貨物が、必要なラベルの貼付や危険物申告書が無い状態で、一般貨物としてフォワーダーや航空会社に引き渡される貨物のことです。航空機への搭載が禁止されている貨物が搭載されたり、必要な措置が取られずに航空機に搭載されたりすることは、安全運航を阻害する重大な脅威となります。

本キャンペーンは、こうした脅威を排除するため、会員各社の従業員はもとより、危険物を取り扱うお客様への啓蒙活動を目指すものです。会員各社の受付窓口や、貨物を取り扱う作業現場に、ポスター掲示やチラシ配置により、関係する皆様への啓蒙活動をお願いいたします。



「無申告危険物“ゼロ”へ
無申告危険物の搭載は、航空機事故に直結します。
(危険物の分類・ラベル一覧)

分類	区分	名前 (IATA カーコ IMP コード)	分類・表示ラベル	主な項目	包装等級
1	1.3G	爆薬 (RDX, RGX, RXG, RXS)	△△△	爆薬等、爆発物等、シートパクト 液体荷物	-
2.1	Flammable Gas		△	ガゼュレーン、ブランジ、 引火性ガスアーチール	-
2.2	Non-flammable, Non-toxic Gas		△△	ヘリウムガス、 炭酸ガス、 二酸化炭素、 酸素、 二酸化硫黄	-
2.3	Toxic Gas	(TGA)	△△△	一酸化炭素、 二酸化硫黄	-
3	Flammable Liquid	(FL)	△△△	ブランジ、ブント、 アルコール、 可燃性固体、自己点火性物質 可燃性固形物、自己點火性物質、 引火性固形物	I, II, III
4.1	Inflammable Solids 可燃性物質		△△△	マッチ、セロロイド、 フィルム、リン、純錫	II, III
4.2	Non-flammable Liquids Combustible	(NFC)	△△△	活性炭、紀州産炭灰、 沖縄バイン炭を除く、 石炭灰、木炭灰	I, II, III
4.3	Dangerous When Wet	(DWH)	△△△	カーバイト、 マグネシウム	I, II, III
5.1	Oxidizer 腐食性物質		△△△	過酸化アルトウム	I, II, III
5.2	Oxidic Peroxide		△△△	メチルエチカルボン、 ハオキサイド	-
6	Toxic Substance	(TBS)	△△△	酸塗料、硝化化合物、 水銀化合物、染料	I, II, III
6.1	Infectious Substance	(RIS)	△△△	ウイルス、バクテリア、 生物活性物質ヨリ-B、 糞便、糞便液	I, II, III
6.2	Infective Material Category I - White	(RRW)	△△△	—	I, II, III
7	Infective Material Category II - Yellow	(RRY)	△△△	—	-
8	Corrosive Material	(RCM)	△△△	酸雨、アルカリ雨、 電離能	I, II, III
9	Miscellaneous Dangerous Goods	(MDG)	△△△	高分子アスコルビン酸 (HSA) 吸湿性リソリューション (HSB) リタム電池 (IICR, R123M) 漆喰、瓦斯、日本刀	III
10	—	—	—	—	-

●お詫びに該当する船積用ラベル

取り扱いラベル	船積用ラベル	貨物運搬にのみ該当する 旅客側には絶対禁止
天地無ラベル	△△△	液体危険物を収納した組み合せ容器あるいは混合容器に使用
標準温度ラベル	△△△	液体危険物を含む組み合せ容器を収納した危険物の表面に貼付
熱源からの距離ラベル	△△△	自己点火性物質および 有機過酸化物を収納した容器の表面に貼付
環境有害物ラベル	△△△	環境有害物を収納した包装物の表面に貼付
リチウム電池ラベル	△△△	充電された荷物基準により貼付が求められる場合はリチウム電池及び リチウム蓄電池の種類を表して合意範囲の表面に貼付

●危険物に該当する船積用ラベル

危険表示	有毒性物質・危険性有効性の種類
△△△	毒性や火災に対する脆弱性がある。
△△△	小量でも自己点火性物質、有機過酸化物。
△△△	高燃点を有しており、火災が蔓延時は液体化されて先端が炎する。
△△△	液体や粉体として存在する場合のみ。、可燃性又は不可燃性又は不燃性。
△△△	自然発火性物質、固形・自己点火性化学物質、不可燃性酸化物、有機過酸化物。
△△△	火薬的物質。
△△△	酸素吸着性物質。
△△△	酸化性物質。
△△△	腐食性。

●危険物となる表示

危険表示	該当する特性
△△△	接触した結果又は皮膚等を損傷させるのがある。
△△△	皮膚や粘膜にたられると腫瘍を生じる。
△△△	皮膚や粘膜にたられると死をもたらす。